

## 編集後記

金利引下げ実現緊急対策本部部員

全国青年司法書士協議会常任幹事 栗野友康

本書は、私たち全青司2700人の会員が、債務を原因として生じるあらゆる不幸を限りなくゼロに近づけるため、司法書士として日常業務の中で感じ、考え、そして行動してきた軌跡としてまとめさせて頂きました。

出来ることならば、金利引き下げを求める署名活動に街頭に立ち声を上げた、各地のシンポジウム・集会に参加した、国会議員に対し説明と要請活動をした、デモ行進に参加した、そして、全国で地方議会への請願活動に尽力した会員皆様の想いを載せたいと思っておりました。しかし、現実として、それは難しい事であり、今回は全青司金利引下げ実現緊急対策本部としてまとめさせて頂きました。ですが、本書に収めた全青司から出した意見書・提言書は、この時、この運動に携わった全青司会員2700人会員の共通した想いであり、意見であったと思いますので、それをもって代えさせて頂ければと存じます。

本書は、高金利引下げという、ある一つの運動の結果をまとめたものではありませんが、債務を原因として生じるあらゆる不幸を限りなくゼロに近づけるという目的の過程の区切りでしかありません。

これから先、新しい会員の皆様にとって、この時の全青司2700人がどう考え、どう行動したかを記録した本書が本来の目的達成の一助となれば幸いに思います。

最後に、多重債務問題は司法書士として取り組まなければならない問題であると、私に教え導いてくれた、この結果を聞くことの出来なかった大先輩に本書を捧げたいと思います。